

「ものわすれ無料相談室」と「住民型認知症カフェ」の普及拡大で早期発見・進行防止を！

一般社団法人 久留米健康くらぶ

〒830-0023 福岡県久留米市中央町35-1

助成事業の概要

1. 民間ものわすれ相談室：毎月第2土曜14時～16時に中心部のくるめりあ六ツ門6階交流スペースにて開催、前半は、セミナーで講師より高齢者の不安や心配の内容をテーマに講演を行い、後半は認知症ご本人・介護家族の相談を個別やグループで行う仕組みで開催しました。特に前半は、(1) もの忘れ (2) 転倒防止 (3) 介護保険 (4) 終活等のお話を専門家が行う中での学びとなり、後半は、参加者それぞれの相談を受けていくことで、病院や地域包括、認知症カフェでの橋渡しを行った
2. 子ども世代介護者オンライン相談：毎月第3土曜20時～21時15分に西原糸店と各自宅で開催5年目となり、専門家からのテーマ毎のお話と認知症カフェの事例紹介での質疑応答は、実践的でリアルな質問も多く、介護負担軽減にも繋がる内容であった
3. 福岡認知症カフェ交流会：県内4地区と総集編を開催し、認知症カフェ運営者を中心に県内市町村の参加も頂き、(1) 認知症カフェ運営の課題の対策 (2) 久留米方式の住民型認知症カフェの理解を深めた。そして認知症カフェの先駆地区の京都市・宇治市での交流会も開催する事が出来ました

事業の成果

1. 民間ものわすれ相談室：この1年で紹介や口コミ、セミナー後の相談が増えてきました。

これは、認知症カフェ12年の取組みと4つの相談会を10年間継続して開催してきた事の賜で、地域包括支援センターやケアマネジャーさんからの紹介もこの数年で増えており「認知症の民間相談窓口」としての認知の拡がりとなっています。

2. まちなかものわすれ相談室は、中心部に出かけての相談会で、参加者は、毎回10名程度でしたが、後半の個別やグループ相談では、現在の不安や悩みを専門家と話をする中で、疑問の解消や介護負担の軽減そして何よりも、毎回心が晴れて笑顔で終わる今までに無い有意義で効果的な取組みとなった。
3. オンライン子ども世代介護者の集い：5年目となった今年度では、参加者の事前質問や専門家のテーマ毎での質疑応答をゆっくり行い、双方向の内容の濃い充実した集いとなった。只、参加者の録画視聴も可能な中で、リアル参加が半分以下になったことは課題となった。しかし5年目となり参加者の顔も馴染みとなり、当日や終わってからのラインでの質疑も増えて更なる疑問の解消や課題解決に繋がった。
4. 福岡認知症カフェ交流会：福岡県の後援を頂き2年目となった対面交流会は、地域での参加に温度差はあったが、行政窓口の課長さんや認知症カフェ運営者も住民・介護事業所・地域包括等様々な運営者が集まり、大変有意義で効果的な質疑応答ができた。特に認知症カフェの運営での課題が多く試行錯誤する中で、久留米方式の「住民型認知症カフェ」が、

この４年間で２２ヶ所新規開設出来たことは、驚愕的な事で各市町村窓口やカフェ運営者への周知啓発が出来、京都地区での交流会でも専門型が多い中で、住民主体の「住民型認知症カフェ」が、今後１０年の取組みで一定の理解を深め、今後の認知症カフェの展開に一石を投じることができました。

成果の広報・公表

1. 昨年１１月に小冊子「認知症は改善できる改訂版」を発刊する事ができました。これは２年前の初刊に続き、更なる認知症改善の事例紹介と共に、久留米市で展開中の住民型認知症カフェが、２年前は８ヶ所で、昨年度で２２ヶ所となりその各カフェの紹介が出来たことは、今後のカフェ運営者の拡充に寄与し、各地区でのカフェ運営の促進にも貢献すると思われま
 2. 今年２月に開催の福岡県の「地域づくり活動賞」にて準グランプリを獲得（１０年前も準グランプリ）し、金メダルは取れなかったが最終戦の５団体に選ばれ、県の広報に掲載頂き当くらの信頼度を更に高める事になった。
 3. 昨年度福岡県の補助金制度「ふくおか地域貢献活動サポート事業」で採択され、その事で福岡県の基金ニュースに掲載を頂きました。
- のあった認知症家族の子ども世代のみを対象に実施してきましたが、この４月からは「リニアルオンライン介護者の集い」として、子ども世代に拘らず、配偶者や親族・知人等の対象を介護者はどなたにも拡充し開催します。今までもアメリカや東京・大阪・神戸等からも参加されてましたが、とにかく認知症の介護で困っている方々は、全て対象に取組みます。方式もオンライン方式からズーム方式に切替え、録画配信も容易になり、リアルで参加できない方にも円滑に後日視聴が可能になり、少しでも多くの認知症で困っている介護者の支援を行って参ります。
3. 福岡認知症カフェ交流会も福岡県の後援３年目となり、県内４地区での交流会を更に充実しながら認知症カフェの拡充（特に住民型認知症カフェの啓発拡充）と認知症カフェの課題解決に寄与していければと考えています。

今後の展開

1. まちなかのものわすれ相談室は、中心部だけではなく久留米市の６地区に出向いて、今年度は「ものわすれ出前相談室」として展開予定です。
2. オンライン介護者の集いは、この５年間はほんとカフェや当くらぶでの無料相談等ご縁